



**日経サイエンス社主催 第2回**  
**「コンピュータ・ビジュアルライゼーション・コンテスト」作品募集**  
 —データ可視化の技術と活用事例をもとめて—

**開催趣旨**

このコンテストは、各分野の研究者・学生を対象に、観測・計測、数値、集計・統計などの結果をコンピュータで可視化した作品を募集し、「データと人」「人と人」とのコミュニケーション手段としていかに活用されているかを審査し、優秀な作品を選出、表彰していくものです。

**協賛** ケイ・ジー・ティー、日本電子計算、日本ヒューレット・パッカード

**後援** (社)可視化情報学会、(社)日本コンピュータ・グラフィックス協会

日本バイオイメージング学会、日経 CG

**協力** オリックス・レンテック、セイコー電子工業

**審査委員**

太田次郎 (お茶の水女子大学長)

大村皓一 (宝塚造形芸術大学教授)

小林敏雄 (東京大学生産技術研究所教授)

戸川隼人 (日本大学教授)

中嶋正之 (東京工業大学教授)

森 啓 (明星大学教授)

松尾義之 (日経サイエンス編集部次長)

**募集作品対象**

①気象・宇宙・地球物理などの計測結果や実験結果の可視化他。

②解析結果の可視化。

③画像処理/ボリュームレンダリング。

④データ解析、プレゼンテーション。

⑤その他、可視化に関する作品。

※創作 CG 作品は対象外とします。

※協賛・協力社からソフト (AVS) およびハードの貸出も予定しています。

**賞 賞金総額70万円**

最優秀賞～AVS 賞 1点 副賞30万円

優秀賞～KGT 賞 1点 副賞10万円

優秀賞～JIP 賞 1点 副賞10万円

優秀賞～HP 賞 1点 副賞10万円

優秀賞～日経サイエンス賞 1点 副賞10万円

※日経サイエンス賞は学生対象賞です。

※作品制作のハード、ソフトは自由です。

**応募申込締切** 1996年7月10日 (水)

**作品提出締切** 1996年8月12日 (月)

**問い合わせ及び応募要項請求先**

〒101 千代田区内神田1-3-1 高砂ビル

社団法人日本コンピュータ・グラフィックス協会

「CVC 事務局」

TEL: 03-3233-3475

FAX: 03-3233-3450

れ、ECMWFの4次元同化データ等から推定された月別蒸発散量と、植生指数との間に密接な関係があるこ

とをアジアにおいて明らかにした。

(鈴木力英)



## 酸性雨講演会 〔酸性雨による森林生態系等への影響〕

**主催：**大気環境学会酸性雨分科会，酸性雨研究会，  
名古屋市環境科学研究所  
**共催：**大気環境学会中部支部，他  
**日時：**1996年7月16日（火），13：15～16：15  
（開場：13：00，閉場：16：30）  
**場所：**名古屋市女性会館 視聴覚室（名古屋市中区  
大井町7-25）  
TEL 052-331-5288，地下鉄名城線東別院駅1  
番出口東方向へ直進 250 m  
<名古屋駅より地下鉄東山線栄駅乗換え，所  
要約20分>

### 〔プログラム〕

- 座長：**田口圭介（大阪府公害監視センター），他  
**挨拶：**三宅貞和（名古屋市環境科学研究所所長），他  
**講演**
- (1) 名古屋市における酸性雨と土壌調査について（仮題）  
酒井哲男（名古屋市環境科学研究所）
  - (2) 酸性雨に対する生態系の感受性の評価  
— 臨界負荷量の推定と問題点—  
新藤純子（農業環境技術研究所）
  - (3) ナラ類の枯死と酸性雪  
小川 真（関西総合環境センター  
生物環境研究所所長）  
（元森林総合研究所科長）

### 内容

地元名古屋市の酒井氏から，酸性雨の現状と影響関連調査例が報告されます。新藤氏は「臨界負荷量」の日本への適用の妥当性等を系統的に研究されています。小川氏は日本海側でのコナラ等の枯死を現地調査し，その原因解明を進めておられます。いずれもこの分野の第1人者で興味ある発表が期待されます。講演会終了後，懇親会を行う予定です。

### 世話人

酒井，北瀬，大場（名古屋市環科研），田口，西川（大阪府公害監視C），藁科（大阪市環科研），松本（奈良県衛研），谷尾（京都府保環研），広瀬（京都府），玉置，平木，正賀（兵庫県公研）

### 連絡先

〒654 神戸市須磨区行平町3-1-27  
兵庫県立公害研究所 玉置元則  
FAX：078-735-7817

参加者は必ず事前に葉書か FAX で申し込んで下さい，先着100名。本会は例年7月頃大阪市で開催していたものですが，今年は開催地を変更します（本年9月に大阪府立大学で大気環境学会が開催される等のためです）。